



第 7 号

平成20年 3 月 1 日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2
TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 菅野吉三

印刷 株式会社丸井工文社

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会 報

校 歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す
われらが母校

C O N T E N T S

同窓会会長挨拶	2
学校長挨拶	3
各科長コメント	4
同窓会記念事業	5
同窓会だより	6
母校だより	8



同窓会会長挨拶



菅野 吉三

プロフィール

昭和42年度卒業機械科四期生、
テクノメタル倶楽部、地域の小・
中学校の育成活動及び支援活動
等世話役活動継続中、団塊世代
の今後の頑張りが肝要と銘じ奮
闘中

大気汚染対策のために発生源の産業から排出規制を実施し、開催国の責任ある対応が必要不可欠として、開催期間前から操業停止との憶測が駆け巡っている状況であります。

操業停止・規制により石炭や合金鉄等の輸出に与える影響で、国際的な原材料の高騰が鋳工業生産部門や、経済面での不安が取り沙汰されています。

北京オリンピックの開催と成功を念願すると共に、中国を初め多くの国々が環境改善に向けた意識と、環境問題と金融面への影響が多である重要性を再確認され、恒久的な対策へスポーツの祭典を通じて人類の存続を願うものです。

次に松工の近況は学科改編による高度な技術習得の環境整備がされ、新実習棟の完成記念式典を挙行致しました。

「実社会に通用する人材の育成」を目指し各種の資格取得については、学校関係者の協力を頂きながら、今回も報告出来ることは同窓生名利に尽きるものです。

少子高齢化が今後益々進み教育環

境にも大きな影響があるものと思われる、学科再編をされたばかりではありませんが、二本松地域で無くてはならない存在で不動の教育の基幹として、今後も精進を賜りたいと切望を致します。

校訓「自律・強調・実践」を崇高な目標に掲げ、目標達成及び自己実現に向けた果敢な挑戦は、日々の努力の結集の成果であります。

その成果は本人の目標完遂への強い意思と、サポートする学校教職員をはじめ先輩、後輩等の理解と協力の関係、プロセスは社会生活の中で活用可能な重要かつ基本的な事象であります。

このことは同窓生の立場からも教育の原点、社会生活の基本として教えられる、尊厳ある後輩からの熱いメッセージであり、生きる道標として言い聞かせて行きたいものです。

結びに松工創立五十周年記念事業に向け関係機関との連携を図り、同窓会の責務を果たして参ります。

皆様方のご健勝を祈念しあいさつと致します。

「環境改善と在校生の奮闘を糧に」

会員皆様方には夫々の立場で活躍され、益々御健勝の事とお喜び申し上げます。

地球温暖化が叫ばれ、環境問題対策は幾多の国際会議の席上で、改善策・数値目標の設定等、意見や論議がされて居ります。

七月の北海道洞爺湖サミットで日本は、議長国として重要な役割を担うての開催であります。

京都議定書の履行と新たなポスト京都フレームワークに向け、地球環境問題は、全世界共通の生活や経済活動に大きな影響を与える重要性を、自然環境、経済社会活動の両面から協議され確認される計画です。続いて八月には北京オリンピックが開催されます。

競技場建設も急ピッチで進められており、参加国や多くの選手達からは、開催国の大気汚染と運営管理の安全性や食に対する不安等が懸念され、その対応策が検討されている現況下でもあります。



学 校 長 挨拶



栗村 知

プロフィール

「会津生れの浜育ち」会津喜多方市で生まれ、いわき市平で育つ。専門教科工業（機械）。趣味テニス。二本松工業高、塙工業高、川俣高、福島工業高、教育センター、教育委員会、勿来工業高、小高工業高を歴任され、平成17年4月本校に着任、現在に至る。

「新実習棟落成式典挙行」

本校は昭和三十七年四月、地域社会からの強い要請により、産業教育振興と中堅技術者養成を使命とし、安達地区唯一の県立工業高校として、この地「榎戸の丘」に開設されました。以来四十数年、巣立った同窓生は九千九百〇〇名を数えるに至り、工業界はもとよりあらゆる分野で活躍されておられますことは、誠に心強いものであります。

本校同窓会は、これまで、菅野吉三会長を中心に本校の発展に大きく寄与されてこられました。様々な事

業・活動を通じて教育環境の維持・向上に重要な役割をはたされておられますことに、心より感謝申し上げます。

お陰様で、本日ここに第四十〇回卒業式を迎え、新たに百〇〇〇名を送り出すことになりました。社会に出て何よりも頼りになり支えになるのは、同窓会の皆様の存在であります。新社会人となる後輩たちに、是非、温かいご支援をお願いいたします。

今年度の卒業生は、平成十六年度に実施した学科改編の第〇期生として、機械システム、情報システム、都市システムの三学科体制のなかで

学んで来ました。

その内容は次のようになります。

○機械システム科

テクニカル・プランニング・ロボット制御の三コースにより、システム化された製造技術に対応できる能力の育成を目指す。

○情報システム科

エレクトリック・コンピュータ・デザイン・情報デザインの四コースにより、「情報」を専門分野の中央に位置づけ、様々な課題の対応できる能力の育成を目指す。

○都市システム科

都市システムエンジニア・環境プランニングの二コースにより、自然環境との調和を図りながら、ITを活用した都市づくりに対応できる能力の育成を目指す。

三科に共通するのは、それぞれの専門分野における課題に対し、主体的に考え、判断し、解決できる実践的技術者を育成することであります。

その為にも、学習環境の改善も並行して進められ、老朽化した実習棟の改築が行われました。

○第一実習棟 三二五㎡

平成十七年十一月完成

○第二実習棟 三三一㎡

平成十九年二月完成

十一月一日には新実習棟落成式典が盛大に挙行され、関係した方々と共にお祝いをしたところであります。

特に、第一実習棟は、中央に通路、その両側に実習室が配置され、通路部分は二階まで吹き抜けになっており、自然採光を十分に採り入れたすばらしい建物になっております。

このように、学科改編の進行と共に新たな環境の整う中、本校の存在意義は生徒諸君の進路実現にあると考え、「実社会に通用する人材の育成」をスローガンに掲げ、教育活動に勤しんでおります

同窓会の皆様におかれましては、どうぞ本校の取り組みにご理解を頂き、温かいご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の方々の一層のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



未来に向かって!

機械システム科 渡辺 靖弘



一学年ニクラスの機械科が、テクニカル・プランニング・ロボット制御の三つのコースからなる機械システム科に改称された。同時に

木造の実習室は吹き抜けの二階建ての実習棟に建て替えられ、FA実習システムなど新しい機器装置が導入された。学科変更の骨子は、自らがコース選択し科目選択をすることによって興味・関心・能力そして適性に合せて機械技術役割を理解すると共に、主体的に課題に取組む意欲の高い実践的技術者を目指すことである。改変後初の卒業生は、早い時期に全員の進路先内定を果たし、新カリキュラムを修了して、三月にそれぞれの道に夢を持って旅立って行った。今年度も十二月初めには全員の進路先が内定するなど、大きなトラブルもなく、大変順調な滑り出しとなった。

しかし、地域に根ざした「機械システム科」ではあるが、まだ、十分に理解されていないところもあるようだ。今後さらには、地域や企業への働きかけを積極的に展開し、物づくりへの興味関心、それに伴う達成感を持たせ、多くの資格取得を奨励しつつ、基幹産業である機械工業をリードできる人間の育成に励んでいきたい。

ビストロ「情報システム科」

情報システム科 佐藤 次広



ビストロ「情報システム科」には、四つのコースがあります。そして、それぞれのコース毎にたくさんの料理が用意されています。

それでは、皆さんをご案内いたしましょう。

エレクトリックコース このコースのメインディッシュは何と言っても、第三種電気主任技術者の資格です。これに合格した生徒が出ました。第一・二種の電気工事士の試験にも多数の合格者が出ています。

コンピュータコース ここでは、基本情報技術者試験や工事担任者試験です。前者に一名、後者には多数の合格者が出ています。

情報デザインコース MAC産のデザインは豊富な前菜。DTPから映像にいたるまで、そこで磨かれた構成員は、どんな現場においても表現のスパイスなのです。

デザインコース ここでは、家具や建築のデザインを学び和洋中好きなものの中から世界に一つしかないものを制作します。昨年は、ユニバーサルデザインフェアで優秀賞を受賞しました。

それぞれのコースのご馳走を食した第一期生と第二期生の皆さんは、このビストロ「情報システム科」に星を幾つ付けてくれるでしょうか。

新実習棟によせて

都市システム科 甲賀 豊光

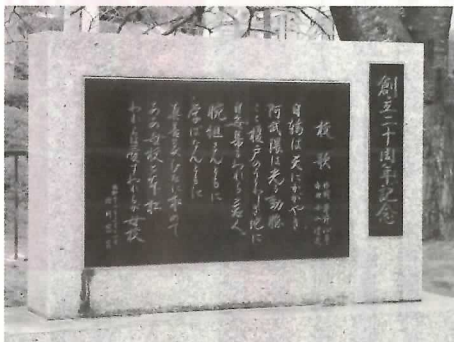


厳寒の候、OB会員の皆様には、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

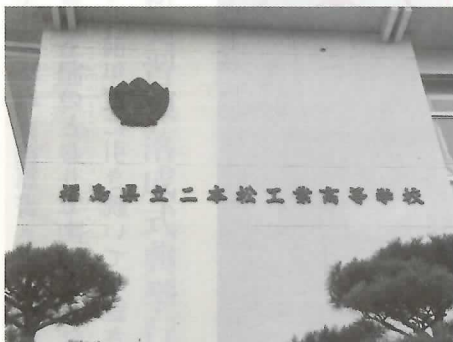
新しくなった実習棟は光をふんだんに取り入れられ

明るい部屋になりました。部屋数は測量二。設計二。土質、材料、施工、準備室の八部屋です。都市の実習は室内ばかりでなく野外の作業もあり、外履きで床が土やコンクリートで汚れる場合があるが、清掃が楽な床材なのできれいです。備品は更新や新規を含めて十種類の装置が入りました。県内でも初めてのGPS測量器具や土質実験装置、百トン万能コンクリート圧縮試験機、など高額器械装置やバックホウなどの重機、電子黒板や棚・机・椅子なども新しくなりました。土やコンクリートなどの実験や測定は大学の水準で実験できる装置がたくさんあり、地元の研究機関の一端を握り発信基地となれば願ひまた創設時の目的を果たそうと思っています。生徒は進路に沿ってコースを選び専門性を深く学ぶことができ、総決算の課題研究では質と選択幅が広がりました。都市の目標は付加価値を豊富に持った新社会人育成にあり、人と技術の向上に邁進する科です。

同窓会 記念事業



創立20周年記念事業として、校歌碑を建立する。



創立30周年記念事業として、銅板による校章と学校名を取り付ける。



創立40周年記念事業として、校訓碑を建立する。



当時「求心庵(合宿所)」建設に際し、同窓会の寄付金を建設費用に充てる。



平成19年、新実習棟改築記念事業として観葉植物を寄贈する。

福島県高校生ものづくりコンテスト 2007電子回路組立部門優勝

感動したものづくりコンテスト

情報システム科 1年4組 三浦勇人

僕は今回ものづくりコンテストに出ることになりました。練習は夏休みが終わると始まり、図面・回路作り・プログラムの勉強をしました。プログラムは特に大変で理解するのにとても時間がかかりました。そして本番の日がやってきました。本番中は緊張で手が震えていたり、プログラムでミスをしたりで大変でした。優勝と言われた時はとても信じられませんでした。指導してくださった佐藤先生に感謝したいと思います。



第二実習棟 (西側から撮影)



第一実習棟 一階廊下(西側から)



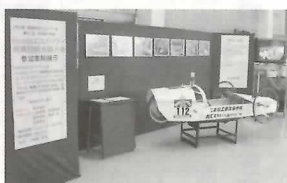
第一実習棟 (西側から撮影)



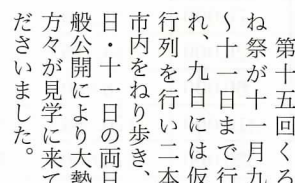
第一実習棟 二階(西側から)



二本松市内を仮装行列



機械システム科科展示



列車製作中

実習棟スナップ

くろがね祭

十二月九、十二日

第十五回くろがね祭が十一月九日、十一日まで行われ、九日には仮装行列を行い二本松市内をねり歩き、十日・十一日の両日一般公開により大勢の方々が見学に来て下さいました。



平成十九年度総会は、栗村校長先生始め四名の先生方のご臨席を賜り十二月二日(土)二本松御苑にて行われました。

十八年度収支決算書・十九年度予算書は下記のとおりです。役員については前年度に引き続いて承認されました。

総会報告

同窓会 だより



栗村校長先生のあいさつの中で、約二年間に及ぶ新実習棟工事が行われ十一月一日、同窓会会長出席のもと落成式典が行われたとの報告がありました。

総会后、なごやかに懇親会が行われました。

平成18年度同窓会収支決算書

1. 収入の部2,058,370円

科目	18年度予算額	18年度決算額	増減	備考
会費	965,000	960,000	△5,000	192人×5,000円
入会金	400,000	400,000	0	200人×2,000円
雑収入	4	334	330	預金利息
繰越金	698,036	698,036	0	
計	2,063,040	2,058,370	△4,670	

2. 支出の部1,573,982円

科目	18年度予算額	18年度決算額	増減	備考
会議費	220,000	144,830	75,170	役員会、総会
行事費	70,000	22,500	47,500	入会式
通信費	70,000	31,500	38,500	ハガキ、切手
会報費	220,000	214,515	5,485	会報発行
慶弔費	60,000	8,000	52,000	香典、その他
記念品費	210,000	170,184	39,816	卒業記念品(証書バンダー)
後援費	220,000	175,600	44,400	激励金、広告
事業費	400,000	348,093	51,907	会報発送作業費、新実習棟記念品
事業積立金	300,000	300,000	0	
事務費	260,000	158,760	101,240	データ有償管理費、事務用品等
予備費	33,040	0	33,040	
計	2,063,040	1,573,982	489,058	

3. 残額484,388円

平成19年度同窓会収支予算書

1. 収入の部1,799,391円

科目	19年度予算額	18年度予算額	増減	備考
会費	915,000	965,000	△50,000	183人×5,000円
入会金	400,000	400,000	0	200人×2,000円
雑収入	3	4	△1	預金利息等
繰越金	484,388	698,036	△213,648	
計	1,799,391	2,063,040	△263,649	

2. 支出の部1,799,391円

科目	19年度予算額	18年度予算額	増減	備考
会議費	160,000	220,000	△60,000	役員会、同窓会総会
行事費	40,000	70,000	△30,000	入会式
通信費	60,000	70,000	△10,000	ハガキ、切手
会報費	220,000	220,000	0	会報発行
慶弔費	30,000	60,000	△30,000	香典、その他
記念品費	190,000	210,000	△20,000	卒業記念品
後援費	350,000	220,000	130,000	くろがね祭後援、激励金、広告
事業費	300,000	400,000	△100,000	会報発送等
事業積立金	300,000	300,000	0	
事務費	110,000	260,000	△150,000	データ入力費・事務用品等
退会費				
予備費	39,391	33,040	6,351	
計	1,799,391	2,063,040	△263,649	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長に限り各科目間において流用することが出来る。

■ 平成19年度役員 ■

役 職	氏 名	卒業年度	学 科
会 長	菅 野 吉 三	42	機 械
	丹 治 茂 雄	40	機 械
	佐 藤 忠 司	40	土 木
	大 内 正 人	44	電 気
副 会 長	津 田 吉 子	48	デザイン
	斎 藤 実	46	機 械
	菊 地 清 義	44	電 気
	鈴 木 昭 市	49	土 木
会 計 事 務 長	佐々木 久美子	57	デザイン
	星 光 昭	39	機 械
	阿 部 昭 一	39	機 械
	安 齋 喜 一	41	電 子
監 事	本 多 真 一	41	土 木
	野 地 芳 司	42	機 械
	尾 形 巳 秋	42	土 木
	半 澤 秋 薫	42	土 木
理 事	高 橋 勝 則	44	機 械
	熊 谷 正 邦	47	電 気
	橋 本 齊 一	48	デザイン
	山 川 博 徳	49	機 械
事 務 局 長	鈴 木 新 栄	49	土 木
	清 水 実	51	土 木
	渡 辺 恵 美 子	54	機 械
	大 内 友 揮	55	土 木
事 務 局 次 長	朝 倉 宏 揮	57	機 械
	清 水 実 (新任)	57	電 子
	渡 辺 恵 美 子	57	デザイン
	大 内 友 揮	59	デザイン
事 務 局 員	朝 倉 宏 揮	62	土 木
	高 橋 平 弥	05	電 子
	丹 野 勇 弥	07	土 木
	大 柳 正 三		
事 務 局 員	塚 原 修		
事 務 局 員	國 道 美 行		
事 務 局 員	渡 邊 保 夫		
事 務 局 員	鈴 木 清 和		
事 務 局 員	阿 相 利 和		
事 務 局 員	佐 藤 昭 次		
事 務 局 員	栗 村 知		

選考委員会 委員長 佐藤忠司 報委員会 委員長 丹治茂雄
 委員 秋山孝雄 委員 本田正栄
 委員 高橋周平
 事務局 塚原修 事務局 高橋正一
 事務局 國道美行

個人情報保護法について

さて、皆様もご承知のとおり「個人情報保護法」が施行されます。私も同窓会においても会員の皆様の個人情報について、管理の徹底・安全対策を充分に図って参ります。

なお、住所変更や個人情報についてのお問い合わせは、本会事務局にご連絡をお願い申し上げます。

福島県立二本松工業高等学校 同窓会事務局
 tel 0243-23-0960

松工テレホンサービス (0243) 62-3330
 松工Eメールアドレス netmaster@nihonmatsu-th.fks.ed.jp
 松工ホームページアドレス http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp



■ 同窓会入会式 ■

第四三回同窓会入会式は二月八日、母校体育館で行われました。

菅野吉三同窓会会長より次の皆さんが幹事に任命されました。

機械システム科一組	藤田 賢
機械システム科二組	齋藤 好泰
情報システム科三組	渡邊 隆寛
情報システム科四組	遠藤 淳
都市システム科五組	齋藤 祐樹

編集後記

二本松工業高校の学科編成が、機械・情報・都市の三つのシステム科となり、新しい実習棟も完成し、設備も整い、時代のニーズに合った生徒を送り出す環境が整ってききました。

昨年は、松工創立当時の、校舎も実習棟も無く、安達高校と岳下小学校の教室を間借りして学んだときに計算尺クラブを立ち上げて下さり、読み上げ算の部で日本一になるまで導いて下さった梅津辰雄先生が、新実習棟を見ずに、残念ながら新しい世へ旅立たれてしまいました。ご冥福をお祈り申し上げます。

松工は、まもなく創立五十周年を迎えますが、この時期に、私たち同窓生に何が出来るか考え、より良い母校となるよう協力していきたいと思えます。

なお、今回の会報は昭和五十九年度〜平成五年度卒の同窓生にお送りいたします。会報の必要な方は、事務局までご連絡下さい。

会報委員長 丹治 茂雄
 委員 本田 正
 委員 鈴木 新栄
 委員 高橋 周平
 事務局 橋本 正一
 事務局 國道 美行



平成19年6月19日 弓道部 國分宏隆
東北高等学校弓道選手権大会



平成19年6月29日 情報システム科 渡邊 徹
高校生ものづくりコンテスト2007
東北大会 電子回路組立部門



平成19年7月20日 カヌー部 阿曾洸樹 國嶋 匠
全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会



平成19年7月20日 弓道部 國分宏隆
全国高等学校弓道大会



平成19年9月26日
カヌー部 佐久間智宏 阿曾洸樹 國嶋 匠
国民体育大会カヌー フラットウォーターレーシング



平成19年9月26日 カヌー部 高藤飛華 松山 惇
国民体育大会カヌー スラロームレーシング